

## 第34回全日本少年サッカー岩手県大会

### 開催要項

1. 趣 旨 財団法人日本サッカー協会は、日本の将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の育成・発達を図ることを目的に全日本少年サッカー大会を開催する。この大会は少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指すものである
2. 主 催 (財)日本サッカー協会 (財)日本体育協会日本スポーツ少年団 読売新聞社
3. 後 援 日本テレビ放送網 報知新聞社 テレビ岩手 岩手県教育委員会  
(財)岩手県体育協会岩手県スポーツ少年団 盛岡市 盛岡市教育委員会  
(財)盛岡市体育協会盛岡市スポーツ少年団 (以上予定)
4. 特別協賛 みちのくコカ・コーラボトリング YKK 花王
5. 協 賛 日清オイリオグループ ゼビオ
6. 協 力 (株)モルテン
7. 主 管 (社)岩手県サッカー協会 (社)岩手県サッカー協会4種委員会  
盛岡市サッカー協会 盛岡市サッカー協会4種委員会
8. 期 日 平成22年6月19日(土)10時 1次ラウンドリーグ戦  
12時 開会式  
20日(日)10時 1次ラウンドリーグ戦  
26日(土)10時 決勝トーナメント1回戦・準々決勝  
27日(日)10時 準決勝・3位決定戦・決勝・閉会式
9. 会 場 盛岡南公園球技場(A・B・C・D)
10. 参加資格 (1)平成22年度(社)岩手県サッカー協会と岩手県スポーツ少年団に加盟登録したチームであること。  
(2)上記チームに所属する選手であり、(財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するもの。  
(3)地区予選に登録された選手が、異なるチームへ移籍して本大会に参加することはできない。
11. 参加チーム及びその数 各地区予選を勝ち抜いた31代表及び開催地代表1チームの合計32チーム。  
(1)チームの構成は選手20名以内、引率指導者3名以内とする。  
(2)引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。  
(3)参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。  
(4)参加チームは必ずスポーツ安全傷害保険に加入していること。
12. 競技方法 (1)32チームを8グループに分け1次ラウンド(1グループ4チームのリーグ戦)を行い、各グループ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。  
(2)1次ラウンドにおける順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。  
①全試合の得失点差(総得点-総失点)  
②全試合の総得点  
③当該チーム同士の対戦成績(勝敗)  
④①~③の全項目において同一の場合は、当該チーム同士によるPK方式により決定する。  
(3)試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。規定の競技時間内に勝敗が決定しない場合は1次ラウンドにおいては引分とする。決勝トーナメント1回戦・準々決勝においてはPK方式により

次回戦への進出チームを決定する。準決勝は 10 分（5 分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合は PK 方式により次回戦への進出チームを決定する。決勝戦は 10 分（5 分ハーフ）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合は 10 分（5 分ハーフ）の再延長戦を行い、なお決しない場合は PK 方式により優勝チームを決定する。なお、延長・再延長戦に入る前のインターバルは 5 分、PK 方式に入るまでのインターバルは 1 分とする。

13. 競技規則 大会実施年度の（財）日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については特に少年用として大会規則を定める。

- (1) 交代は、登録選手 20 名以内から先発 11 名を除いた選手の中から主審の許可を得て最大 9 名まで行うことができる。尚、交代により退いた選手は、再びその試合に出場できない。
- (2) 本大会において、退場を命じられた競技者は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会において、警告を 2 回受けた競技者は次の 1 試合に出場できない。なお、1 次ラウンドにおける警告は、決勝トーナメントへは持ち越さないものとする。但し、1 次ラウンドにおける出場停止処分が未消化の場合は、決勝トーナメントに持ち越して処分を適用する。
- (4) ベンチに入ることができる人数は、12 名（交代要員 9 名、指導者 3 名）以内とする。
- (5) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示は、テクニカルエリア内から指定された指導者に限り伝えることができる。指示を与えた後は所定の位置に戻らなければならない。
- (6) 第 4 の審判員を任命する。
- (7) ロスタイムの表示については準決勝、3 位決定戦及び決勝のみ実施する。
- (8) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために、入場を許可される指導者の数は 2 名以内とする。
- (9) 本大会に参加する競技者は、（財）日本サッカー協会の発行した登録選手証（写真貼付されたもの）を持参すること。不携帯の競技者は、原則として当該試合への出場を認めない。
- (10) 本大会に参加する監督は、（財）日本サッカー協会の発行した監督証（写真貼付されたもの）を持参すること。不携帯の場合には原則としてベンチ入を認めない。
- (11) ピッチサイズ：縦 80m、横 50m  
ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に 12m、その地点からゴールラインに直角 12m  
ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に 4m、その地点からゴールラインに直角 4m  
センタサークル：半径 7m  
ペナルティマーク：8m  
ペナルティーク：半径 7m の半円弧  
フリーキック時の壁との距離：7m  
ゴール：ゴールの内側の縦 2.15m、横 5m

14. 参加申込 (1) 所定の参加申込書を 6月8日(火) 18 時までに（社）岩手県サッカー協会事務局まで提出すること。

(2) 登録選手の変更（入替）については 3 名を上限に、変更（追加）については 20 名の枠内まで認める。所定の様式を監督会議の際に提出すること。

15. 組み合わせ 6月6日(日) 15 時より（財）岩手県体育協会会館会議室にて各地区競技部員の立ち会いで組み合わせ抽選会を行う。

16. ユニフォーム (1) ユニフォームは参加申込時に登録したユニフォームを着用すること。但し、チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。また、チームは試合会場に正・副 2 組のユニフォームを持参しなければならない。

背番号は1～20の通し番号とする。

(2) ユニフォームへの広告表示については(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、平成22年5月21日までに承認された場合のみこれを認める。

(3) その他の事項については(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

17. 監督会議及び審判員の打合せ

(1) 監督会議を6月19日(土)9時から盛岡南公園球技場大会議室(球技場1階中央)で行う。チーム受付を済ませてから出席すること。

(2) 帯同審判員の打合せを同じく9時から小会議室(球技場1階北側事務室向かい)で行う。帯同審判員1名は必ず出席すること。

18. 開会式 6月19日(土)12時より盛岡南公園球技場で行う。選手は11時50分にユニフォーム・スパイクを着用し、団旗を持って整列すること。

19. 閉会式 6月27日(日)決勝戦終了後、盛岡南公園球技場で行う。

20. 表彰  
優勝 優勝カップ 読売新聞社  
賞状 岩手県サッカー協会  
優勝メダル(22個) テレビ岩手

準優勝 賞状 岩手県サッカー協会

第3位 賞状 岩手県サッカー協会

第4位 賞状 岩手県サッカー協会

敢闘賞 3位チームへ 特別協賛者(コカ・コーラ)

努力賞 4位チームへ 特別協賛社(YKK)

グッドマナー賞 望ましいチームへ 特別協賛社(花王)

優秀選手賞 20名 岩手県サッカー協会4種委員会

21. 審判割当 4種委員会審判部にて割当するので所属審判員(有資格者)を必ず帯同すること。

22. その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。

(2) 本大会要項に記載されていない事項については大会実行委員会において協議の上決定する。

(3) 優勝チームに第34回全日本少年サッカー大会決勝大会の岩手県代表の出場資格を与える。

～～～ 大会事務局 ～～～

〒020-0133 盛岡市青山4-13-30

(社)岩手県サッカー協会 事務局 千田俊和

☎ 019-648-8014 FAX 019-648-8017

E-メール chida\_faiwate@yahoo.co.jp